


# 在宅取組型（小学校）

学校名等	大野町立西小学校
実施日時	平成28年8月3日～8月9日
会場	各家庭
参加人数	31組の親子
学習課題（分野）	夏休み親子でハグ週間
運営者の願い	日々の生活の中では、仕事や家事に追われて子どもと十分にとコミュニケーションを図る機会が取りにくい。そこで時間的にも、また心理的にも余裕のある夏休みを利用して、各家庭で「親子でハグ」に取り組んでもらい、心のつながりを深めるとともに、今後の子育てにつなげていきたい。



＜目的がはっきりしている取組＞

- 親子のコミュニケーションの機会を増やす。
- ハグすることで、親子共に安心感が高まる。

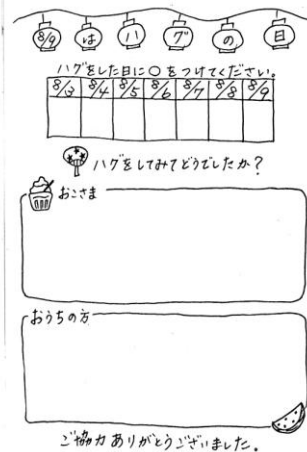
## 学習の内容

### ＜取組内容＞

昨年に引き続き2回目ということで、夏休み前に家庭教育学級役員から、一年生保護者宛に「夏休みハグ週間」についてのお知らせを配付し、参加を呼びかけた。取組期間は8月9日（ハグの日）を最終日として前1週間を設定した。学校でも、子どもたちにこの取組を紹介し、意欲化を図った。

取組結果はカードに記録し、夏休み終了後に、実施の状況と、子どもの感想・保護者の感想をまとめた便りを配付し、成果を共有できるようにした。

### ＜記録カード＞




### ＜実施の流れ＞

【6月】 家庭教育学級役員会で、実施方法について検討、配付資料の作成

【7月】 一年生保護者に資料と記録カードを配付、学級担任から子どもたちにも話してもらう

【8月】 8月3日から8月9日まで各家庭で実施

【9月】 始業式の日にカードを回収して、結果集計および感想をまとめた資料を作成し、各家庭に配付



＜誰でも簡単にできる取組＞

- 特別な時間や準備が不要なく、どの家庭も簡単に取り組める。
- 取組期間だけでなく、いつでも継続して実践ができる。

### ＜実践のポイント＞

- ・親子で話し合って、実践する時を決める。
- ・親子でハグをした時の感想を伝え合う。
- ・ハグ週間だけでなく、その後も継続できるように声をかける。

### ＜アンケート結果＞


どの家庭でも簡単に取り組める内容であるため、参加率・実施状況とも、ほぼ100%であった。

#### 【子どもたちの感想】

- ・ずっとやってね。
- ・お母さんが大好きなのでうれしかったです。
- ・小さい頃からいつもやっているけど、やっぱりうれしかったです。

#### 【保護者の感想】

- ・肌の暖かさを感じ、ほっこり幸せな気持ちになりました。
- ・幸せを感じ活力が生まれます。
- ・こういう機会がないと、なかなかハグしなくなっているんだと気付きました。
- ・子どもがとても笑顔になり、喜んでいました。
- ・ハグを意識することで、子どもの安心につながったようです。



＜取組の成果を交流し、意欲を高める工夫＞

- 結果を資料にまとめ、活動の良さや、さらに実践を続ける意欲などを共有できるように、全学級生に配付している。